

【オンライン】ハピネスフォーラム

「サステナビリティマインドセットについて学び、 ビジネスの前提を見つめ直そう」

開催日時：2022年7月31日(日) 13:30~16:00

参加人数：13名

主催・運営：株式会社ウェイアンドアイ

代表取締役 粟野 智子 / 馬橋 和弘



【ハイブリッド開催!! 「ハピネスフォーラム」】

*本フォーラムの収益は、全額、日本ユニセフ 緊急コロナ基金へ寄付します。

新型コロナウイルスや気候変動による災害などの影響もあり、サステナビリティに関する問題意識が高まっています。

一方、企業や組織に関しても、SDGsやESG投資などにより、経営にサステナビリティを組み込むことが必須事項として求められるようになってきました。インドネシアのアメリア・ナウム先生をお呼びして、海外で注目されている「サステナビリティマインドセットモデル」について学び、これからの時代に求められる前提となる考え方、価値観について話し合いました。

【受付・チェックイン】

弊社代表の粟野がオープニングを運営。日本全国から、11名の皆様にご参加いただきました。今回は、日曜日の開催にも関わらず、全国から問題意識の高い皆様にご参加ください、うれしい限りです。冒頭で、今回の企画の趣旨を共有し、和やかな雰囲気の中、フォーラムがスタートしました。内容に入る前に、これまで探求してきた理念浸透研究からなぜこのプログラムに行きついたのか、最近の研究結果から「利他性の発達」がサステナビリティマインドセットにつながっていくということを共有しました。

【サステナビリティマインドセットモデルを開発したイザベル先生より、ビデオメッセージ】

イザベル・リマノッチ先生が「自分は何のために生きるのか」に悩んだ末、行きついた研究テーマから生まれた「サステナビリティマインドセットモデル」とそのストーリーについて紹介がなされました。それは、10年以上前の話であり、それ以降、世界中のたくさんの仲間がこのプログラムの普及に尽力してくれたことへの感謝と、そして、今回日本でも初めてこのプログラムが展開されることへの感謝と期待が話されました。

私たちは、その話を聞いて、今後に対する期待で胸が膨らみました。

【粟野より「サステナビリティマインドセットモデル」の説明】

次に粟野より、「サステナビリティマインドセットモデル」について説明させていただきました。エコロジカルな世界観や仕組みや構造の視点、あまり今まで聞いたことがない「感情的知性」や「精神的知性」について共有しました。特に、後者の二つは、これまでのビジネス社会では、重要視されてこなかった部分であり、サステナビリティな社会を創るには、これらが重要だという話は、印象深いものがあつたようです。

【サステナビリティマインドセットの海外での活動についてアメリア先生から紹介】

アメリア先生の自己紹介から、サステナビリティマインドセットとの出会い、これまで活動の様子を話してくださいました。

グローバルなコミュニティで展開されているので、

世界中でプログラムが展開されており、

アメリア先生の生徒さんの事例などが紹介されました。

また、これからのビジネスは利益のみならず、

何に意識しながら価値創造していく必要があるのかを共有しました。

また、SDGsが組み込まれた戦略の必要性と

それがもたらす意義について話が展開されました。

そのためには、「精神的知性」を磨く必要があるという話が印象的でした。

最後に、これまで、「世界の中のベスト」を目指してきたが、

これからは、「世界のためのベスト」を

目指す必要があるというメッセージをいただきました。



アメリア先生、通訳を務めてくださった先生の息子さんと一緒に

【気づきや感じたことを共有するグループ・ダイアログ】

最後に、気づきや感想を共有するグループ・ダイアログと全体共有を行いました。グループ・ダイアログでは、気づきや感想がシェアされました。

かなり深い話が共有されたグループもあり、他の方の話から気づきを得られることも多かったようです。全体ダイアログでは、グループ・ダイアログの内容が共有されました。他のグループの話から、さらに気づきが広がったり、深まったりして、今後の自分の行動について、考えさせられた方も多かったようです。



ご参加者の声

- ・サステナビリティマインドセットモデルが分かれば、行動をよりよく変えられるかと思ってましたが、自分に関しては、エコロジカルな知識の不足、及び、こうしたいという直感の不足を感じました。
- ・イザベル先生の「なぜ私はこれをしているのか?」「社会に悪影響をしていないか?(子どもや孫に説明できるのか)」という問いと、優れたリーダーは「価格やコスト、効率ではなく、環境により良いかどうかを重要視する」というお話が印象に残りました。
- ・やはり事実、正しい情報を得ることが大切で、そこからはじめないといけないと思いました。
- ・今更ながら目の前まで起きていることの一つ一つがすべてつながっているのだと改めて感じました。
- ・このサステナビリティマインドセットについて今回初めて知ってとても勉強になりました。またこの考え方を知ることによって、誰もがみんなに対して優しくなるものなのではないかと感じました。
- ・改めて今の自分の生活からすぐに変えていけることがたくさんあるなと思いました。今組織で働いていて、組織を変えていくということはなかなか難しいけれど、自分がかかっていること一つ一つに対してこの考え方を参考にしたり、生かしていくことができれば、さまざま起きている問題を解決する糸口が見つかるように思いました。
- ・改めてSDGsを考える機会とヒントとなりました。
- ・モデルは整理するのに分かりやすいです。
- ・「企業とお客さまがパートナーになる。消費者側が声をあげることで背中を押してもらえる」という話が大変心に響きました。そのような取り組みが出来たら良いと感じました。

【最後に】

新型コロナの影響で大変な時期でしたが、多くの方にご参加いただき、本当にありがとうございました。皆さんと一緒に世界のサステナビリティの活動に触れることができ、そこからの深いダイアログにより、サステナビリティマインドセットモデルの理解が進んだだけでなく、これからの企業と消費者の関係性なども考えさせられ、ビジネスの前提を見つめ直す機会になったのではないかと思います。また、この考え方や価値観を磨いていくためには、精神的知性を磨くことが必要であり、どうすれば磨けるのか、自分の利他性の発達につなげられるのか、そのような問いをいただいたフォーラムになったと思います。来月から「利他経営研究会」もスタートしますので、引き続き、深めていきましょう～

日本から新鮮

粟野智子より:インドネシアのアメリカ・ナウムさんとイザベル・リマノッチさんをゲストスピーカーに迎えたフォーラムは大成功でした!誰もがサステナビリティの考え方の重要性を理解しているようです。今後、日本の企業や大学に広めていきます。今週から沖縄観光サステナビリティマインドセットプログラムがスタート!



フランスとジョージアから

Libra-Alliance と Grigol Robakidze Universityは、トビリシのGRUNIキャンパスにLibra-Allianceの持続可能性センターの1つを設立する取り組みに協力し、他のキャンパスにオフィスを構えています。このパートナーシップの全体的な目的は、一般的に、国連の持続可能な開発目標(SDG)に関する社会的認識を高め、責任ある管理教育の原則(PRME)とグローバルコンパクト(GC)の目的に焦点を当てることです。どうぞ期待!

ウェイアンドアイフォーラム ～利他経営研究会～ 全6回

第2回は10月8日(土)開催!

フォーラム
詳細
お申し込み
こちら

テーマ

「サステナビリティ経営の実現に向けて、そのベースとなる利他的経営とは何かを学び合い、自社の経営に活かす」

サステナビリティマインドセットに関するPRMEワーキンググループ(150か国以上の参加者で構成)のニュースレター(8月号)に、ウェイアンドアイフォーラム(7/31)が掲載されました。

ご参加の皆さん、ありがとうございました